

**【第261号 紙面案内】**

第2面……………中部部会案内

第3面……………関東部会案内

第4面……………自由論題報告募集案内

新年のご挨拶

会長 松本 芳男

明けましておめでとうございます。新春にふさわしい明るい話題から始めようと思ったのですが、なかなか浮かんできません。円高とデフレの下で景気の2番底が懸念されるなか暗い話題ばかり目立ちます。昨年7月の完全失業率は5.7%と過去最悪を更新、完全失業者は360万人を上回り、雇用者の3人に1人は非正社員という状況です。景気後退の中で非正社員の雇用が不安定化することは避けられず、処遇格差も歴然としています。

日本では、医療・年金・雇用保険などにより正社員とその家族は守られていますが、非正社員の増加はそうしたセーフティーネットからこぼれる人々を大量に生み出しています。その結果、経済協力開発機構（OECD）の2004年度調査では、日本の相対的貧困率は14.9%で加盟30カ国中4番目に高く、2007年度調査では15.7%となり約6人に1人が貧困層に陥っています。中流階級の没落は、3万人を超える自殺者、非婚化などさまざまな社会問題を顕在化させています。

このようななかで決定された政府の緊急経済対策は7兆2千億円もの財政支出を打ち出していますが、成長率を押し上げる効果はわずか0.3%程度と見込まれており、国債発行残高は600兆円という天文学的数字に達しています。

こうした状況のなかでも元気印の企業や人間はいます。家具・インテリア専門店のニトリは2010年2月期の経常利益を従来予想から20億円上方修正し、23期連続の増益見込みです。単に海外製品を輸入販売するのではなく、中国、東南アジアの工場に自主企画製品の生産を委託し、工程改善などを指導する生産体制をとり、物流システム整備による不良在庫圧縮、省人化を徹底した売り場づくりなどにより損益分岐点を下げ、値下げしても利益の出るビジネスモデルを構築して快進撃を続けています。

もう一つの元気印は女性です。島根の温泉街で旅館の女将として金土日働き他の日は地域貢献活動をしている山根多恵子さん、カンボジア農村部の女性に職業訓練や雇用を提供し、児童買春の温床となる貧困解決に取り組む村田早苗さん、山形県で「ガールズ農場」を運営している高橋菜穂子さん、女子高生の声をビジネスに結びつけるブームプランニング社長中村泰子さんなど枚挙にいとまがありません。

暗い世相を嘆くのではなく、逆境を乗り越える斬新なアイデアと勇気・行動力を持つ人材を育成するために、本学会が貢献できることを願ってやみません。

◇◇中部部会開催のご案内◇◇

- 日 時：2010年3月20日(土) 13:30～17:15
- 場 所：東海学園大学栄サテライト 地下鉄名城線「矢場町」駅4番出口より南へ200m
(徒歩約3分)。若宮大通を渡った角の1階にファミリーマートの入った「久屋南KTビル」の9Fにあります。
- 報告プログラム(報告30分、コメント10分、質疑10分)
 - 第1報告：13:30～14:20
報告者：劉 強(リュウ・キョウ)氏(中部大学大学院)
テーマ：「市場経済における中国国有企業の経営者選任に関する一考察」
司会・コメンテーター：杉山 三七男氏(静岡産業大学)
 - 第2報告：14:20～15:10
報告者：梅田 勝利氏(中部学院大学)
テーマ：「金融危機に伴う会計基準の動向－企業経営への影響について－」(仮題)
司会・コメンテーター：遠藤 秀紀氏(東海学園大学)
 - 第3報告：15:10～16:00
報告者：加藤 實氏(東海学園大学)
テーマ：「社会福祉法人経営における人材育成」
司会・コメンテーター：河野 篤氏(中部学院大学)
(15分休憩)
 - 第4報告：16:15～17:05
報告者：城田 吉孝氏(愛知学泉大学)
テーマ：「企業のコンプライアンス体制の現状(1)」
司会・コメンテーター：未定
- 部会報告：17:05～17:15
- 参加費等：参加費 500円、懇親会費 4,500円程度
- お問い合わせ：中部部会長・堀田 友三郎
(0561-36-5555, hottat@tokaigakuen-u. ac. jp)
中部部会事務局・藤木 善夫(0564-48-4511, yfujiki@asu. ac. jp)

※中部部会では随時報告者を募集しております。ご希望の方も上記藤木宛お知らせください。

機関誌投稿論文募集

機関誌委員長 河野 大機(東洋大学)

機関誌への論文投稿への締め切りは、2010年1月末です。字数は16,000字で変更なしですが、書式は46字×37行とし、余白は上10mm下12mm、左右16mm(10頁以内)に変更になりました。なお、その他の投稿規程も厳守してください。

◇◇関東部会開催のご案内◇◇

●日 時：2010年3月27日(土) 13:30~17:00

●場 所：立教大学池袋キャンパス

12号館 地下1階 第1・2会議室

●報告プログラム (報告40分、コメント・質疑20分)

第1報告：13:30~14:30

報告者：澁澤 洋 (立教大学大学院)

テーマ：「わが国企業の資金調達行動に関する一考察」

コメンテーター：前田 文彬 (ウェールズ大学)

司会者：松村 洋平 (立正大学)

(10分休憩)

第2報告：14:40~15:40

報告者：シュレスタ・ブパール・マン (創価大学大学院)

テーマ：インドにおけるCSR活動の評価基準；先進国との比較

コメンテーター：金 在淑 (日本大学)

司会者：田中 信弘 (杏林大学)

(20分休憩：コーヒープレイク)

第3報告：16:00~17:00

報告者：文堂 弘之 (常磐大学)

テーマ：日本企業のTOBと買収プレミアム

コメンテーター：杉浦 慶一 (日本バイアウト研究所)

司会者：犬塚 正智 (創価大学)

●参加費等：参加費 500円 (今回懇親会は開催しない予定です)

●お問い合わせ：関東部会長・佐久間 信夫 (042-691-6994 nsakuma@soka.ac.jp)

※2010年度第1回関東部会は、2010年5月15日(土)明治大学で開催の予定です。報告を希望される方は、2月28日(日)までに関東部会長・佐久間 信夫 (TEL: 042-691-6994 nsakuma@soka.ac.jp) までお知らせ下さい。関東部会では随時報告者募集を行っております。

本 棚 — 会員の最新著書をご紹介します —

(1) 金網 基志 『暗黙知の移転と多国籍企業』 立教大学出版会

2009年3月 3,800円+税

(2) 時井 聡・田島 博実編著 『現代の企業組織と人間』 学文社

2009年10月 2,400円+税

第61回全国研究大会自由論題募集

2010年6月25日(金)～27日(日)、立正大学(大崎キャンパス)において開催される第61回全国研究大会での自由論題報告を募集します。下記要領に従ってお申し込みください。

《応募要領》

1. 応募資格：本学会の会員
ただし、1年以内に報告された方の応募はご遠慮ください。
2. テーマ：本学会の目的に沿う以下のもの
 - ・経営体の諸活動に関する実践的経営の研究
 - ・日本の経営および国際的経営の研究
 - ・経営者・管理者の実践的能力を育成するための経営教育の研究
3. 応募書類：応募には表紙、報告要旨、参考文献の3点が必要です。
 - ・表紙(A4サイズ1枚)……以下を明示してください。体裁は任意です。
 - ①氏名(漢字・仮名およびアルファベット)
 - ②報告テーマ
 - ③所属(現職および職位)
 - ④連絡先(自宅および所属先の電話番号・FAX番号、E-mailアドレス)
 - ・報告要旨(A4サイズ、用紙縦置き横書きで2枚以内)
要旨には問題意識、論点、結論等を必ず含めてください。
 - ①字数は2,000字以内(40字30行)、10.5ポイント、余白は上下左右各25mm
 - ②報告テーマはゴシック体、要旨は明朝体
 - ・参考文献(A4サイズ1枚)……書式は報告要旨に準じます。
参考文献は内容と密接に関係するものにとどめ、関係の薄いものは控えてください。
上記書類を締切期日までに郵送または電子メールでお送りください。
4. 締切：2010年2月28日(日) 必着
5. 応募先・問い合わせ先：日本経営教育学会事務局(担当：魚住 良三)
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-4 株式会社山城経営研究所内
TEL: 03-3264-2100 FAX: 03-3234-9988 E-Mail: name@kae-yamashiro.co.jp

※当大会における自由論題報告の司会をご担当いただける方を広く募集いたしております。
お引き受けいただけます方はぜひとも吉村 孝司(組織委員長: yoshimur@kisc.meiji.ac.jp)までご一報いただけますよう、お願い申し上げます。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。会報第261号をお届けします。第61回全国研究大会での自由論題募集をいたします。会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

中部部会、関東部会にも奮ってご参加ください。

樋口弘夫・山中伸彦

発行 日本経営教育学会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-4
株式会社山城経営研究所(担当:魚住)
TEL 03-3264-2100 FAX 03-3234-9988
E-mail: name@kae-yamashiro.co.jp
URL: http://www.j-keieikyoku.jp/

印刷 株式会社フジヤマ印刷 TEL 03-3260-3801
E-mail: fujiyama@mx7.ttcn.ne.jp